

## 令和6年度子ども・子育て会議臨時会（書面開催） 結果

■書面開催通知日 令和6年8月14日（水）

■出席委員（19名）

神谷明文、矢田力三、片部美加、中島稔宏、榊原真由美、杉浦正之、鈴木三喜男、野上三香子、渡邊裕子、柴田知幸、岩瀬せつ子、土肥由美、平野佳香、由良宜寛、浅倉幸代、近藤雅明、山本由美子、遠藤昌代、沓名香奈

■議題

令和7年度保育園及び認定こども園の利用定員について

■結果

賛成19 反対0

安城市子ども・子育て会議条例第7条第3項に基づき本議題は可決されました

■委員からの主な意見及び回答

主な意見	回答・取組方針
利用定員4650人（＝必要量）を満たす方法として、主として公立と事業団の定員を減らして、調整したという理解でよろしいですか？	保育士配置基準及び少子化を受けて利用定員を削減しましたが、待機児童を発生させないよう、保育必要量を確保し得る定員数となっております。
歯止めがかからない少子化傾向の中、民間保育園・幼稚園の切実な思いは大いに理解できます。公立と同じ割合で民間に定数を減らすわけにはいかないと思います。安城市が他市に先駆けて待機園児ゼロを自負できたのは民間施設のおかげであると思います。民間施設も支援するスタンスが重要だと思います。	ご意見いただきました通り、教育・保育の受け皿の確保を安定的に行ってこれたのは、公立保育所等だけでなく民間事業者によるところが非常に大きいと考えています。今後も引き続き互いに連携を取りながら、必要な支援を実施できるよう心がけてまいります。

<p>必要量の見込みと供給量についての項目ですが、3～5歳児の利用定員案の合計人数4,650人は保育園、任定こども園の供給量とありますが、私立幼稚園も供給先かと思えます。この4,650人の合計人数に1,463人の幼稚園の定員数も含めて頂き、6,113人にして頂いた方が妥当かと思えます。</p>	<p>子ども・子育て支援事業計画では、市全体の子育て支援事業量の見込みとして、保育園及び認定こども園といった「特定教育・保育施設」のほか、市の確認を受けない私立幼稚園を含めた供給量をお示ししていきます。</p> <p>しかしながら、子ども・子育て会議にてお諮りさせていただく利用定員は、子ども・子育て支援法で規定する「特定教育・保育施設」の定員ですので、市の確認を受けない私立幼稚園の定員数は含めず保育園及び認定こども園のみの利用定員とさせていただいています。</p>
<p>お忙しい所、子育て支援課子育て支援係の皆様の御対応には頭の下がる思いでおります。</p> <p>できましたら、7月30日（火）の第1回安城市子ども子育て会議に愛知県私立幼稚園連盟安城市部9園との合意をとりつけておいて頂きたかったと思っております。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後も、関係各所と連携を図り、適切な利用定員の設定に心がけてまいります。</p>
<p>先日の7月30日（火）の会議では反対に1票を投じました。理由は、私立幼稚園連盟と市保育課において「対話」が必要だと強く感じたためです。利用定員数の数が理由ではありません。説明書を拝読すると合意に至ったとありましたので、賛成することとしました。今後もしっかりと対話の上に利用定員数が決定されていくことを望みます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後も、関係各所と連携を図り、適切な利用定員の設定に心がけてまいります。</p>